

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 62-168402

(43)Date of publication of application : 24.07.1987

(51)Int.Cl.

H01Q 15/16

(21)Application number : 61-008829

(71)Applicant : SUGINO PRESS:KK

(22)Date of filing : 21.01.1986

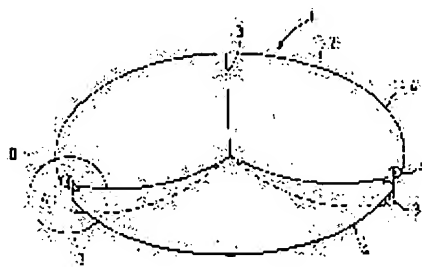
(72)Inventor : SUGINO KICHIJI

(54) PARABOLIC ANTENNA

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a parabolic antenna which is strong in its strength, and also can easily be manufactured, by bringing one piece of metallic plate to press working, forming integrally in one body a body part of a parabolic shape, and forming integrally in one body a rib in the radial direction, at an equal interval.

CONSTITUTION: On the reverse side of a body part 2 having a parabolic shape of a parabolic antenna 1 which has been formed integrally in one body by press working by using a metallic plate having a high electric conductivity such as aluminum, a rib 3 in the radial direction is formed integrally in one body at an equal interval. On the outside peripheral edge of the body part 2, a curl part 4 which has been bent to the reverse side is formed integrally in one body. The rib 3 is reinforced so that the body part 2 can maintain a correct parabolic shape. The curl part 4 also reinforces the outside peripheral part, and a deformation and a damage are prevented.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-168402

⑬ Int.Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)7月24日

H 01 Q 15/16

7402-5J

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 パラボラアンテナ

⑯ 特 願 昭61-8829

⑰ 出 願 昭61(1986)1月21日

⑱ 発 明 者 杉 野 吉 治 名古屋市瑞穂区弥富町字円山22番地

⑲ 出 願 人 株式会社 スギノプレ 瀬戸市山の田町231番地
ス

⑳ 代 理 人 弁理士 三好 保男 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

パラボラアンテナ

2. 特許請求の範囲

一枚の金属板をプレス加工することにより、放物面形状の本体部を一体成形すると共に、半径方向のリップを等間隔に一体成形して成ることを特徴とするパラボラアンテナ。

3. 発明の詳細な説明

〔発明の技術分野〕

この発明は、パラボラアンテナに関し、特にプレス加工により一体成形されたパラボラアンテナに関する。

〔発明の技術的背景及びその問題点〕

電波の送、受信に用いられるパラボラアンテナのうち比較的小型のものは従来、金属板を絞り加工により分割した放物面に形成し、連結して全体形状を組上げるものであった。

しかしながら、絞り工程が入るときには製造工

程が複雑であり、さらに強度的にも一層の向上が望まれていた。

〔発明の目的〕

この発明は、このような従来の問題に鑑みてなされたものであって、強度的に強く、製造もしやすいパラボラアンテナを提供することを目的とする。

〔発明の構成〕

この発明は一枚の金属板をプレス加工することにより、放物面形状の本体部を一体成形すると共に、半径方向のリップを等間隔に一体成形して成ることを特徴とするパラボラアンテナを要旨とする。

〔発明の実施例〕

以下、この発明の実施例を図に基づいて詳説する。第1図及び第2図はこの発明の一実施例を示すものであって、アルミニウムのような電導度の高い金属板をプレス加工により一体成形したパラボラアンテナ1が示されている。このパラボラアンテナ1では、放物面形状をした本体部2の裏面に、等間隔に半径方向のリップ3が一体に形成さ

れている。また本体部2の外周縁に裏面側に折り曲がったカール部4が一体に形成されている。

上記構成のバラボラアンテナ1では、本体部2が電波の送信又は受信を行なう。リブ3は本体部2が正しい放物面形状を維持するように補強する。さらにカール部4も外周部の補強をし、変形や破損を防止する。

第3図及び第4図は他の実施例のバラボラアンテナ5を示すものであり、本体部6の表面側に補強用のリブ7が等間隔に形成され、カール部8が裏面側に折り曲げて形成されている。補強用のリブは、表面側、裏面側のいずれにあっても電波の送、受信の性能に影響が及ばない。

なお、上記の両実施例ではリブが120°ずつ等間隔離れて3本設けられているが、このリブの本数は特に限定されることはない。

【発明の効果】

この発明は、プレス加工による一体成形によって放物面形状の本体部を形成すると共に補強用のリブを設けて成るのである。したがって、製造工

程においてはプレス加工だけで済み、簡単に製造できる利点がある。しかも、補強用のリブが形成されているため、強度的にも強くできる利点がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例の斜視図、第2図は第1図のII部拡大図、第3図は他の実施例の斜視図、第4図は第3図のIV部拡大図である。

- | | |
|------------|--------|
| 1…バラボラアンテナ | 2…本体部 |
| 3…リブ | 4…カール部 |
| 5…バラボラアンテナ | 6…本体部 |
| 7…リブ | 8…カール部 |

特許出願人 株式会社 スギノプレス

代理人 弁理士 三 好 保 男

